

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年6月7日のビデオメッセージ（要約）>

孫娘のサマラは最近、水彩絵具で自分が外を歩いている自画像を描きました。なんと、サングラスにマスクをかけた姿でした。いま世界中の人がサングラスとマスクをつけ、びくびくしながら過ごしていると思います。しかし、神の言葉には、希望が示されています。聖書には「神は～である」と神自らが宣言された言葉が300以上出てきます。その最初は、創世記で神がアブラハムに言われた「わたしは盾である」という言葉です。外出するとき、サングラスやマスクで身を守るとは思いますが、神様は、決して破られることのない盾となって、あなたを囲み、守ってくださいます。「神は～である」についての最後は、黙示録22:16に出て来る「わたしはダビデのひこばえ(子孫)である」というイエス様の言葉です。ほかにも、「神は～である」という言葉が聖書にたくさん出てきますが、それを読むと、わたしたちは勇気が与えられ、心に励ましが与えられます。今、みなさんが置かれている状況の中で、ストレスや不安を覚えていることでしょう。しかし、ぜひ、人生を作り変える聖書の力強い言葉に心を留めていただきたいのです。イエス様が言われた「神は～である」「わたしは～である」の言葉を、いくつかご紹介します。

わたしはいのちのパンである。(ヨハネによる福音書6章)

わたしは世の光である。(ヨハネ8章)

わたしは門である。(ヨハネ10章)

わたしは良い羊飼いです。(ヨハネ10章)

わたしは復活であり、いのちである。(ヨハネ11章)

わたしは道、真理、命である。(ヨハネ14章)

わたしは、まことのぶどうの木である。(ヨハネ15章)

イエス様が言われたこれらの言葉を、わたしたちは心から信頼して、自分の人生をイエス様におゆだねすることができるのです。ぜひ、イエス様の言葉を受け取ってください。これらの約束は、すべてあなたのもものだからです。